

ることにより、より良い介護の提供を目指す。

(対象者)

介護福祉士や他の介護関連資格保有者など

(内容)

介護学会を開催して、論文、事例研究、一言提言の発表を行う。

(本年度の取り組み)

第12回福岡県介護学会を開催して、介護福祉士5名、学生6名の計11名が「回復期リハ病棟の介護士の役割と課題」「多様な環境下での介護福祉士の専門性と実践」等の論文、事例研究発表を行った。学生や介護福祉士、介護支援専門員や社会福祉士等の介護関連資格保有者99名が参加した。また2名の大学教員によって講評を行った。

福岡県介護学会

日 程：平成25年3月17日

会 場：クローバープラザ 508A B 研修室

参加者：99名

3) 海外研修事業

(目的)

海外の介護福祉事情を視察し介護環境の向上に役立てる。

(対象者)

介護福祉士などの介護従事者以外にも一般県民を含む

(内容)

5～7日間程度の日程を組み、諸外国への視察を行う。視察後はレポートをまとめ、会員に配布する等して情報の共有を図り質の向上に努める。

(本年度の取り組み)

広報誌「福介ニュース」やホームページ等で募集した介護福祉士30名、一般県民6名による視察団が、3泊5日の日程を組み、オランダのアムステルダム市近郊の認知症施設やホームヘルパー事務所、高齢者介護施設など視察研修を実施した。視察後はレポートをまとめ、会員に配布して情報の共有を図り、介護環境の向上や介護職の質の向上に努めた。

日 程：平成25年3月12日～平成25年3月16日

視察先：オランダ（アムステルダム市近郊）

参加者：36名

4) 関連団体が行う調査事業への協力

(目的)

関連団体との協力関係を強化し、県民の介護福祉の質の向上に寄与する。

(対象者)

他の介護福祉士会や社会福祉士会などの福祉関連団体や大学教授などの研究者

(内容)

関連団体が行う調査事業への協力を行う。近年の実績でいえば、社団法人日本介護福祉士会が行う「介護現場におけるサービスの質の確保に関する調査研究」や「災害時における介護福祉支援ボランティア・マニュアル」などの調査研究や学術研究のための調査協力がある。

(本年度の取り組み)

社団法人日本介護福祉士会から「第10回介護福祉士の就労実態と専門性の意義に関する調査」への協力依頼があり、本会会員640名に調査票を配布、うち241名記入済み調査票の回収を行った。

5) 制度政策検討事業

(目的)

介護の質の向上のために福祉制度の改善や介護従事者の業務特性を明らかにすることを目的とする。

(対象者)

行政機関や日本国民

(内容)

委員会を開催するなどして、介護保険制度等に関する改善提言のとりまとめや介護福祉士の専門性に関する分析などを行う。その結果を行政機関や国民に周知していく。

(本年度の取り組み)

制度政策検討委員会を開催して、介護福祉士における、1. 介護の質の向上、2. 労働環境の改善、3. 社会的地位の向上、業務独占、4. 介護サービス利用者の負担について、議論をまとめた。広報誌「福介ニュース」にて委員会だよりを掲載し、また本会ホームページに掲載し、本会会員や県民等に広く周知を行った。

制度政策検討委員会日程：平成24年7月25日～平成25年3月12日（全7回）

第1回 平成24年 7月25日 今年度の取り組み内容の決定

第2回 平成24年 8月29日 介護の魅力、専門性について

第3回 平成24年 9月19日 介護の魅力、専門性について

第4回 平成24年10月24日 介護の魅力、専門性について

第5回 平成24年11月21日 中間まとめ

第6回 平成24年12月19日 今年度のまとめについて、次期介護報酬改定について

第7回 平成25年 3月12日 平成24年度議論のまとめ

会 場：福岡県介護福祉士会研修センター

委員数：13名

6) 災害対策検討事業

(目的)

いつ起こるかわからない日本国内における天変地異による災害等で介護等必要な支援活動を行う際、介護支援ボランティアが円滑に活動できるようにする。

(対象者)

介護福祉士等の介護従事者

(内容)

社団法人日本介護福祉士会が作成した「災害時における介護福祉支援ボランティア・マニュアル」の見直しや災害時に役立つ介護技術等を検討する。

(本年度の取り組み)

ア) 災害対策検討委員会を開催し、災害時に介護福祉士や介護従事者が円滑に活動できるよう、「災害時介護福祉士派遣マニュアル(案)」「災害時介護福祉士養成研修(案)」を検討し作成した。イ) 被災地で積極的に活動を行った宮城県介護福祉士会の協力を得て、マニュアル案についての意見交換を行った。

ア) 災害対策検討委員会日程：平成24年7月17日～平成24年11月22日 (全7回)

第1回 平成24年7月17日 災害派遣時のフローチャート作成について

第2回 平成24年8月22日 災害派遣時のフローチャート作成について

第3回 平成24年9月12日 災害派遣時のフローチャート作成について

第4回 平成24年9月26日 災害時介護福祉士養成研修(案)の作成

第5回 平成24年10月10日 災害時介護福祉士養成研修(案)の作成

第6回 平成24年10月17日 災害派遣時のフローチャート作成について

第7回 平成24年11月14日 マニュアル案、研修案の最終検討、まとめ

会場：福岡県介護福祉士会研修センター

委員数：7名

イ) 宮城県介護福祉士会との意見交換会

日程：平成25年3月30日～31日

会場：仙台福祉プラザ会議室

参加者：13名(うち本会より10名)

(事業実施のための財源)

1) の論文作成研究事業、2) の介護学会は参加費を徴収したので、それを運営費用に充

てたが、不足額については会費を充当した。3)の海外研修は旅費等を参加者が負担した。4)の関連団体が行う調査事業への協力、5)制度政策検討事業、6)災害対策検討事業は、対価を得ることのない事業であるため、不足額は会費を充当した。

(公1にまとめた理由)

1)及び2)は、介護に関する調査、研究、論文発表等を通じて、介護福祉の向上を目指すもの、4)は関連団体への協力を通じて介護福祉の向上を目指すもの、5)は介護福祉の向上のため、政策提言、調査などを行うもの、6)は災害時における介護福祉の向上を目指すもの、3)は1)、2)、4)、5)の目的を実現するために、諸外国の取り組みの情報収集等を行うもので、いずれも介護福祉の向上に寄与する事業であることから、公1としてまとめたもの。

【公2】 県民への介護福祉に関わる情報提供及び啓発事業

1) 公開セミナー事業

(目的)

広く県民に介護福祉に関する知識の伝達をし、社会全体の福祉に対する意識の向上などを図ることを目的とする。

(対象者)

一般県民、介護福祉士などの介護関連資格保有者など

(内容)

本会の総会時などで行う基調講演などを一般開放して、誰もが参加できる講演やセミナーを開催する。

(本年度の取り組み)

県民の介護に関する知識や意識の向上を図るため、総会時の基調講演をはじめ、本会が主催する研修会を県民、介護職、その他介護関連職資格保有者に開放した。

平成24年度第1回定時社員総会

日 程：平成24年6月2日

会 場：クローバープラザ クローバーホール

参加者：149名

内 容：基調講演(公開講座)「利用者の自主性を引き出す介護」

講 師：株式会社KRK代表取締役 山下総司氏

2) 広報事業

(目的)

広報紙やホームページを通じて、県民に対して福祉に関する啓発活動を行う。

(対象者)

県内の介護事業所、本会の会員、その他購読希望者など

(内容) 介護の専門職団体として、最新の福祉動向や本会の開催する研修などの広報紙やホームページに掲載して情報提供及び啓発活動を行う。広報紙は年間6回発行し、毎回およそ3,500部を配布する。

(本年度の取り組み)

介護の専門職団体として、最新の福祉動向や本会の開催する研修などを広報誌やホームページに掲載した。広報誌「福介ニュース」を4月、6月、8月、10月、12月、2月の年間6回発行し、本会の会員、県内の介護事業所、購読希望者を対象に毎回およそ3,000部配布した。同時にホームページの更新を随時行い、年間18,000人程度の人が閲覧した。

3) 講師派遣事業

(目的)

介護従事者や一般県民に対して、介護に関する知識や技術を普及することを目的とする。

(対象者)

セミナーや研修会の主催者

(内容)

社会福祉協議会等の団体からの依頼をうけ、セミナー、研修会等への講師の派遣を行う。他団体の開催する研修会に講師を派遣することにより、より多くの方に対して知識や技術の普及を行うことができる。

(本年度の取り組み)

市町村社会福祉協議会や介護福祉士養成施設など団体等からの依頼をうけ、訪問介護員養成研修や介護技術講習会、住民向け介護講座などへ講師を派遣した。詳しくは、別紙(平成24年度講師派遣事業実績一覧)参照。

4) 行政機関等が行う介護に関するイベント協力

(目的)

介護に関する普及啓発を目的とする。

(対象者)

イベント主催者

(内容)

行政機関等が開催する、介護に関するイベントに協賛又はスタッフとして参加する等して、間接的に介護に関する普及活動を行う。

(本年度の取り組み)

福岡県が主催した「ふくおか介護グランプリ2012」における競技審査について、福岡県より協力依頼があり、審査委員を派遣しイベント協力を行った。

日 程：平成24年11月11日

場 所：都久志会館ホール

内 容：プロフェッショナル・コンテスト（介護技術競技）の審査・講評

5) 介護の日啓発事業

(目的)

平成20年に制定された介護の日を県民に周知することを目的とする。

(対象者)

県民全体

(内容)

街頭行動やシンポジウムなどの開催、行政機関等の関連団体が行う啓発事業への協力を行う。

(本年度の取り組み)

福岡市支部、福岡支部、北九州市支部、筑豊支部、筑後支部の5支部において電話相談や悩み相談のチラシや宣伝用絆創膏の配布及び行政機関等の窓口にチラシを設置し、介護の日を県民にPRした。

(事業実施のための財源)

1) 公開セミナー事業、2) 広報事業、4) 行政機関等が行う介護に関するイベント協力、5) 介護の日啓発事業は、対価を得ることのない事業であるため、不足額は会費を充当した。また、広報発送時に事業所等の広告チラシを同封する際に送料の一部負担料を本事業の財源とした。3) 講師派遣事業は講師謝金が発生する場合があるので、それを運営費用に充てたが、不足額については会費を充当した。

(公2にまとめた理由)

1) は介護福祉に関する公開セミナーを通じて、広く情報提供を行い意識の向上を行うもの。2) は広報誌やホームページを通じて、広く情報提供を行うもの。3) は介護福祉に関するセミナーへ講師派遣等の協力をすることで知識や技術を普及させるもの、4)、5) は行政等が実施する介護福祉に関するイベントに協力することによって、介護に関する普及活動を行うもので、いずれも介護福祉に関する情報提供や啓発を行う事業であることから、公2としてまとめたもの。

【公3】 介護従事者等に対する相談・研修等事業

1) 相談事業

(目的)

県民や介護従事者からの介護に関する悩み相談に応じ、介護負担の軽減などを図ることを

目的とする。

(対象者)

県民、介護従事者など

(内容)

全国一斉介護相談と称して、老人週間に本会事務局にフリーダイヤルを設置し、県民からの介護に関する悩みや質問への無料相談を受けつける。本事業を周知するために、街頭でチラシ配布を行う等する。

また、本会事務局に設置している固定電話にかかってくる介護に関する質問に答える等、事務局職員が情報提供を行っている。更に、介護従事者などの悩み相談に応じるために専門の相談員による相談会を開催する。

(本年度の取り組み)

1 1月11日介護の日に本会事務局にフリーダイヤルを設置し、県民からの介護に関する悩みや質問への無料相談を7件受けつけた。また、本会事務局に設置している固定電話に介護に関する質問が12件あり、介護福祉士を含む事務局職員が質問に答えるなどして情報提供を行った。更に、介護従事者などの悩み相談に応じるために本会の専門相談員による相談会を開催し、3件の相談があった。

2) 就職支援事業

(目的)

介護の仕事に従事したいと考えている者に介護業務の内容や資格取得方法についての情報提供や求人情報の提供を行い就職を支援することを目的とする。

(対象者)

学生、介護業務に従事したいと考えている者、県民

(内容)

他団体が主催する「福祉の職場説明会」に主催者の依頼により介護福祉士を派遣し、学生や今後介護業務に従事したいと考えている方等の来訪者に対して、介護業務の内容や介護事業毎の特徴、介護福祉士の資格取得方法等の情報提供を行い就職を支援する。また、広報誌などを通じて本会に寄せられる介護事業所等からの求人情報を提供する。

(本年度の取り組み)

学生や介護の仕事に従事したいと考えている者に就職の支援をするため、福岡県福祉人材センターが行う福祉の職場合同就職面談会に本会会員を相談員として2回派遣した。介護業務の内容や在宅や施設等の介護事業毎の特徴、介護福祉士の資格取得方法等の情報提供を行った。また、介護福祉士会の広報誌などを通じて本会に寄せられる介護事業所等からの求人情報を提供した。

日 程：平成24年8月3日、平成25年2月1日 (全2回)

場 所：クローバープラザ

3) 受験対策事業

(目的)

介護関連資格取得を支援することを目的とする。

(対象者)

介護関連資格取得を目指している者

(内容)

介護福祉士資格取得を目指す方を対象に、試験対策模擬試験、実技講習会を実施する。また、介護支援専門員の資格取得を目指す方を対象に、受験対策講習会、全国統一模擬試験を実施する。これにより高齢者の福祉を担う人材の育成を行っている。

(本年度の取り組み)

介護福祉士資格取得を目指す方を対象に、受験対策講習会と介護福祉士国家試験対策模擬試験、実技講習会を実施した。また、介護支援専門員の資格取得を目指す方を対象に、介護支援専門員受験対策講習会と介護支援専門員受験対策模擬試験を実施した。これにより高齢者の福祉を担う人材の養成を行った。

介護福祉士受験対策講習会

日 程：平成24年8月2日～12月9日（全6日間）

会 場：福岡県介護福祉士会研修センター

参加者：31名

介護福祉士国家試験対策模擬試験（筆記）

日 程：平成24年12月9日

会 場：クローバープラザ508AB

参加者：80名

実技講習会（2日コース）

日 程：平成25年2月25日、2月27日

会 場：ふくふくプラザ介護実習室

参加者：34名（延べ人数）

実技講習会（1日コース）

日 程：平成25年2月24日

会 場：ふくふくプラザ介護実習室

参加者：34名

介護支援専門員受験対策講習会

日 程：平成24年8月11日

会 場：クローバープラザ506研修室

参加者：41名

介護支援専門員受験対策模擬試験

日 程：平成24年9月23日

会 場：クローバープラザ506研修室

参加者：38名

4) 介護福祉士生涯研修事業

(目的)

質の高い介護が提供できるよう、介護福祉士が生涯に渡り研鑽していくべき研修の機会を提供することを目的とする。

(対象者)

介護福祉士

(内容)

介護福祉士資格取得後おおむね1年程度の初任者を対象に、質の高いサービス提供者となっていくための、職業倫理、最新の知識、技術の修得等を目的とする研修会を開催する。研修時間は21時間程度で、おおむね3日間で修了する形式をとる。

また、介護福祉士資格取得後おおむね2～3年程度の方で、小規模チームのリーダーとして活躍している又は今後活躍が期待できる方を対象にして、ファーストステップ研修を行う。カリキュラムは個別ケア、地域との連携、チームの運営管理の3つに分かれ、事前事後課題を含めると延べ200時間の研修である。

(本年度の取り組み)

介護福祉士を対象に質の高い介護ができるよう「初任者研修」、「ファーストステップ研修」、「サービス提供責任者研修」をそれぞれ実施した。「初任者研修」は介護福祉士に関する法律と制度、専門性と職業倫理、介護技術、介護過程等、21時間の研修を行った。講師は福岡県老人福祉施設協議会、福岡県老人保健施設協会、福岡県高齢者支援課、介護福祉士養成施設、本会からの10名であった。「ファーストステップ研修」は本会15名の講師によって個別ケア、地域との連携、チームの運営管理に関する内容で行い、事前事後課題を含めて200時間の研修を実施した。更に、「サービス提供責任者研修」は本会7名の講師によって、サービス提供責任者に必要な医学的知識や緊急時対応、介護計画や記録、多職種との連携等、26時間の研修を実施した。

介護福祉士初任者研修

日 程：平成24年10月20日～平成24年11月17日（全3日間）

会 場：ふくふくプラザ介護実習室・クローバープラザ

参加者：28名

ファーストステップ研修

日 程：平成24年8月25日～平成25年3月23日（全15日間）

会 場：福岡県介護福祉士会研修センター

参加者：25名（うち修了者16名）

サービス提供責任者研修

日 程：平成24年10月21日～平成25年3月17日（全6日間）

会 場：福岡県介護福祉士会研修センター

参加者：22名（うち修了者15名）

5) 介護実習指導者講習会事業

（目的）

現場で介護実習担当を担う者の資質を向上することにより、介護福祉士養成施設で学ぶ学生がより効果的な現場実習を体験することを目的とする。

（対象者）

介護現場で実習担当を担う者、今後担うことが予定されている者

（内容）

学生への指導技術の向上に資する講習会を行う。法律改正により本講習を受講しなければ、学生への実習指導にあたることができないこととなったため、将来の人材を養成するためには必要な研修会である。

（本年度の取り組み）

介護現場で実習担当を担う者、今後担うことが予定されている者に対して講習を行う。介護技術の基本、実習指導の理論と実際、介護過程、スーパービジョンの意義および学生理解、実習指導の方法と展開等の内容で全25時間の講習会を実施した。また、介護実習指導者講習会を修了した者を対象に介護実習指導者講習会フォローアップ研修を実施した。講義は介護福祉士の会員で、介護福祉士養成施設の元教員・現任教員、実習を受け入れている介護現場の職員が行った。

介護実習指導者講習会

日 程：1. 平成24年7月18日～平成24年8月8日（全4日間）

2. 平成24年10月30日～平成24年11月7日（全4日間）

会 場：1. クローバープラザ、2. 毎日西部会館

参加者：1. 96名、2. 93名

介護実習指導者講習会フォローアップ研修

日 程：平成24年8月30日

会 場：クローバープラザ506研修室

参加者：30名

6) 介護支援専門員研修事業

(目的)

介護支援専門員の資質の向上を図ることを目的とする。

(対象者)

介護支援専門員資格を有している者

(内容)

介護支援専門員に対してケアマネジメント手法や制度改正、高齢者の理解等の資質向上のための研修会を開催する。

(本年度の取り組み)

介護支援専門員に対して資質向上のため「介護報酬改定のポイント」というテーマで、4時間の研修会を実施した。

日 程：平成24年6月23日

会 場：クローバープラザ501研修室

参加者：52名

7) 講師養成研修事業

(目的)

質の高い講師を養成することを目的とする。

(対象者)

介護福祉士

(内容)

介護員養成研修に派遣する講師を養成するために、授業案の作成方法や講義法などの研修会を開催する。

(本年度の取り組み)

講師養成については、平成25年度以降に現在の介護員養成研修から実務者研修へと研修内容の変更が予定されていたため平成24年度は実施を見送った。

8) 介護技術講習指導者養成講習事業

(目的)

質の高い介護福祉士を養成することを目的とする。

(対象者)

介護福祉士

(内容)

国家試験実技試験が免除になる介護技術講習会の指導者を養成するための講習会を開催する。

(本年度の取り組み)

介護福祉士を対象に介護過程の展開、コミュニケーション、移動等の介護技術を2日間、全14時間、5名の本会主任指導者が講師として介護技術講習指導者養成講習会を実施した。

日 程：平成24年6月24日、6月30日

会 場：ふくふくプラザ介護実習室

参加者：23名

9) キャリアパス研修会

(目的)

介護従事者の労働環境の整備の一環として、介護事業所などでキャリアパスを構築するためのノウハウを身につけることを目的とする。

(対象者)

介護事業所経営者、管理者、介護従事者など

(内容)

キャリアパスの概要や導入のノウハウについて研修会を開催する。

(本年度の取り組み)

実施予定なく休止。

10) 実務者研修教員講習会事業

(目的)

質の高い講師を養成することを目的とする。

(対象者)

介護福祉士

(内容)

実務者研修に派遣する講師を養成するために、厚生労働省が定めるカリキュラムに基づき教育方法や授業計画案の作成方法等の研修会を開催する。

(本年度の取り組み)

平成24年度から平成25年度にかけて、介護福祉士を対象に研修会を行っている。平成24年度は全8回のうち3回を終了した。

日 程：平成24年3月6日～平成25年5月18日（全8回）

会 場：クローバープラザ、ふくふくプラザ

参加者：63名（修了見込み）

11) その他研修事業として、1. 専門部会研修、2. 支部地区研修、3. 介護技術等研修を行う。

1. 専門部会研修

介護分野を老人施設部会、障害施設部会、ヘルパー部会、介護福祉士取得後3年未満の本会会員で構成される「WaKaBa～明日への会～」、本会会員のうち定年退職者で構成される「まりも会」に区分し、それぞれの専門性の向上に資する研修会を開催する。

2. 支部地区研修

福岡県内の5支部13地区において、地域の特性に応じ、制度改正や介護技術など多岐に渡り、地域に密着した研修会を開催する。

3. 介護技術等研修

介護認定審査会、障害程度区分審査会、外部評価調査で活動する委員や調査員に対して研修会を開催する。会員自らが企画し理事会が承認したグループ助成研修を開催する。認知症の基礎や最新の介護実践方法を学ぶために認知症シリーズ研修を開催する。訪問介護員等が認知症予防と進行防止に繋げることを目的に、福岡県の委託を受け認知症対応力向上研修を開催する。介護福祉士等が得た知識や技術等を職場や地域社会等へ伝えるためのプレゼンテーション研修を開催する。

（本年度の取り組み）

介護従事者を対象にその他研修事業として、以下の研修を行った。

1. 専門部会研修

ヘルパー部会

日 程：平成24年12月2日

会 場：クローバープラザ

内 容：「介護従事者における労働法の勉強会」

参加者：55名

障害者施設部会

日 程：平成24年11月3日

会 場：福岡県介護福祉士会研修センター

内 容：「精神障害の立場からと支援する立場から障害者総合支援法を語る」

参加者：9名

老人施設部会

日 程：平成24年7月16日

会 場：福岡県介護福祉士会研修センター

内 容：「介護福祉士による認知症ケアとは～アセスメントを重点に事例検討を通じて～」

参加者：35名

まりも会

日 程：平成25年2月11日

会 場：福岡県介護福祉士会研修センター

内 容：「遺言と尊厳死」

参加者：25名

WaKaBa～明日への会～

日 程：平成25年1月13日

会 場：福岡県介護福祉士会研修センター

内 容：「現場で活かせるレクリエーションの展開方法～視点を変えるといろいろなことが見えてくる～」

参加者：23名

2. 支部地区研修

北九州市支部

日 程：平成24年6月23日

会 場：ウエルとばた

内 容：「おこなっていますか？適切な認知症ケアを」

参加者：60名

北九州市支部

日 程：平成24年11月9日

会 場：ウエルとばた

内 容：「介護保険制度改正後の現状と今後」

福岡市支部

日 程：平成24年7月8日

会 場：福岡県介護福祉士会研修センター

内 容：「自殺予防の対応とセルフケア」

参加者：25名

福岡市支部

日 程：平成24年9月2日
会 場：福岡県介護福祉士会研修センター
内 容：「うつ病について学びましょう。」
参加者：31名

福岡支部糸島地区

日 程：平成24年7月8日
会 場：福岡県介護福祉士会研修センター
内 容：生かせる認知症ケア「コミュニケーション」
参加者：37名

福岡支部糟屋地区

日 程：平成24年11月25日
会 場：福岡県介護福祉士会研修センター
内 容：生かせる認知症ケア「介護予防にも役立つストレッチ運動について」
参加者：15名

福岡支部宗像地区

日 程：平成24年10月20日
会 場：福岡県介護福祉士会研修センター
内 容：生かせる認知症ケア「緊急時対応・AED対応」
参加者：26名

福岡支部筑紫地区

日 程：平成24年9月16日
会 場：福岡県介護福祉士会研修センター
内 容：生かせる認知症ケア「記録、言葉の表現」
参加者：27名

筑豊支部

日 程：平成25年1月27日
会 場：飯塚市立岩公民館
内 容：「あなたの食事介助、大丈夫ですか？～言語聴覚士による状態別嚥下機能と誤嚥防
止～」

参加者：35名

筑豊支部嘉飯山地区

日 程：平成24年11月25日

会 場：酒菜屋月のうさぎ

内 容：「日頃の思いを語りましょう（意見交換会）～忘年会もしましう～」

参加者：5名

筑豊支部直方・鞍手地区

日 程：平成24年12月25日

会 場：宮若リコリス

内 容：「安全な食事のアプローチ」

参加者：9名

筑豊支部田川地区

日 程：平成24年8月25日

会 場：福地町公民館金田分館

内 容：「認知症の接し方・笑顔で過ごすために」

参加者：26名

筑豊支部京築地区

日 程：平成24年9月9日

会 場：行橋市中央公民館

内 容：「大切な契約、遺言は公正証書で～遺言、任意後見制度、尊厳死宣言について～」

参加者：10名

筑豊支部中間地区

日 程：平成24年11月10日

会 場：中間ハーモニーホール

内 容：「リハビリとの連携～介護福祉士に求めるもの～」

参加者：26名

筑後支部甘木・朝倉地区

日 程：平成24年11月4日

会 場：小郡市総合保健福祉センターあすてらす

内 容：「成年後見制度について学ぶ」

参加者：12名

筑後支部久留米地区

日 程：平成24年12月2日

会 場：あおぞらの里久留米デイサービスセンター

内 容：「サインに気づく力をつけよう～観察力・洞察力を身につける～」

参加者：33名

筑後支部八女・筑後地区

日 程：平成25年2月24日

会 場：筑後市勤労者家族支援施設（サンコア）

内 容：「認知症」あなたはどう思っていますか？どう考えていますか

参加者：15名

筑後支部有明地区

日 程：平成24年10月6日

会 場：大牟田市エコサルクセンター会議室

内 容：「認知症や認知症の人の理解と地域ケア～大牟田市の取り組みから～」

参加者：15名

3. 介護技術等研修

介護認定審査会・障害程度区分審査会研修

日 程：平成24年11月10日

会 場：クローバープラザ508研修室

内 容：模擬審査・意見交換会・講義

参加者：64名

外部評価調査員スキルアップ研修

日 程：平成24年11月25日

会 場：ももちパレス小ホール

参加者：92名

グループ助成研修

日 程：平成24年4月7日～平成25年3月20日（計7回）

会 場：福岡県介護福祉士会研修センター、ふくふくプラザ、クローバープラザ、庄や

参加者：125名（延べ人数）

認知症シリーズ研修

日 程：平成24年7月21日～平成25年1月19日（全7日間）

会 場：電気ビル、クローバープラザ、ふくふくプラザ

参加者：608名（延べ人数）

認知症対応力向上研修

日 程：平成24年7月21日～平成24年10月24日

会 場：電気ビル、北九州国際会議場、えーるピア久留米、吉塚合同庁舎

参加者：229名（延べ人数）

プレゼンテーション研修

日 程：平成25年2月16日

会 場：福岡県介護福祉士会研修センター

参加者：37名

（事業実施のための財源）

1) 相談事業、2) 福祉の職場説明会への参加は対価を得ることのない事業であるため、不足額は会費又は本事業内で生じた収益を充当する。3) 受験対策事業、4) 介護福祉士生涯研修事業、5) 介護実習指導者講習会事業、6) 介護支援専門員研修事業、7) 講師養成研修事業、8) 介護技術講習指導者養成講習事業、9) キャリアパス研修会、10) 実務者研修教員講習会事業、11) その他研修事業は参加費を徴収するので、それを運営費用に充てるが、不足額については会費を充当する。また、福岡県からの委託事業の場合は委託費を運営費用に充て、不足額は会費を充当する。

（公3にまとめた理由）

3)～11)は質の向上を図るために介護福祉士等に対して研修を実施するもの、1)、2)は県民や介護従事者に対して、介護を中心とした相談等に応じるもので、いずれも介護業務の包括的な支援を目指すものであるため、公3としてまとめたもの。

【公4】 介護を必要とする者等の自立を支援するための事業

1) 介護認定審査会・障害程度区分認定審査会への委員派遣

（目的）

専門職である介護福祉士を委員として派遣することにより、適正な認定審査が行われることを目的とする。

（対象者）

市町村、広域連合

(内容)

県内の市町村、広域連合が組織する介護認定審査会並びに障害程度区分認定審査会に、適切な人材を派遣し介護保険行政に協力を行う。本会では、介護認定審査会委員、障害程度区分認定審査会委員合わせて200名以上の派遣を行っている。

(本年度の取り組み)

県内の市町村、広域連合が組織する介護認定審査会並びに障害程度区分認定審査会に、人材を派遣し介護保険行政に協力を行った。福岡県内の市町村、広域連合延べ25保険者の介護認定審査会に161名、障害程度区分認定審査会に37名の委員を派遣した。

2) 行政機関等が開催する委員会への委員派遣

(目的)

介護現場の意見を反映させ県民の福祉の向上に寄与することを目的とする。

(対象者)

県市町村等

(内容)

県内で県市町村、広域連合が開催する福祉、医療等に関する委員会などに適切な人材を派遣する。

(本年度の取り組み)

福岡県が開催する福岡県社会福祉審議会、福岡県医療審議会へ委員を派遣した。その他福岡市が開催する福岡市介護保険事業計画策定委員会や、広域連合が開催する介護保険事業計画策定委員会等に人材を派遣した。詳しくは別紙(平成24年度委員派遣・推薦等一覧)参照。

3) 介護サービスの外部評価事業

(目的)

介護サービス事業所の質の向上をもって、県民の福祉の向上に寄与することを目的とする。

(対象者)

認知症対応型共同生活介護事業所、小規模多機能型居宅介護事業所

(内容)

福岡県並びに北九州市指定調査機関として、小規模多機能型居宅介護事業所、認知症対応型共同生活介護事業所等からの依頼を受け、実地調査を行うことにより介護の質の向上並びに県民への情報提供に努める。

(本年度の取り組み)

福岡県並びに北九州市指定調査機関として、小規模多機能型居宅介護事業所、認知症対応型共同生活介護事業所からの依頼に対して両事業所へ調査員を派遣し、年間56件(認知

症対応型共同生活介護 37 件、小規模多機能型居宅介護 19 件) の実態調査を行った。

(事業実施のための財源)

1) 介護認定審査会・障害程度区分認定審査会への委員派遣、2) 行政機関等が開催する委員会への委員派遣は、対価を得ることのない事業であるため、不足額は会費又は本事業内で生じた収益を充当した。3) 介護サービスの外部評価事業は、事業所から調査事務手数料を徴収したので、それを運営費用に充てたが、不足額については会費を充当した。

(公4にまとめた理由)

1)、2) は行政における介護認定審査会等に委員として派遣するもの、3) は介護サービスの客観的評価等を行うもので、いずれも介護保険制度等の円滑な運用において、介護を必要とする者等に対して自立の支援を行うものであるため、公4としてまとめたもの。